

ごあいさつ

平成27年度文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択された「静大発“ふじのくに”創生プラン」も4年目を迎えました。本事業の開始時より、本事業に参画いただいている事業協働機関の皆様を始め、県内外の関係機関様、また地域の皆様におかれましては、本事業へのご理解、また様々なお力添えをいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。

この“ふじのくに”創生プランを実施するに当たり、平成29年度は、本学にとっても大きな変革を伴う年度となりました。事業の推進をより確かなものとする為、事務強化に着手し、人員の整備等含め実施体制をより強固なものにしたほか、県域が東西に長い静岡県全域をカバーする為に、東中西の3ブロックに分けることで、それぞれの地域における取組みがより推進しやすい体制作りを整えました。また、7月には本学にて「地域志向宣言」を発表し、地域に山積している様々な課題に対し、地域の皆様と共に考え、解決していきける、これまで以上に地域に寄り添う大学であることを改めて宣言した次第です。

さて、本事業は若年層の流出という課題に正面から向き合い、地域社会活性化のための施策に取り組んでいくことを目標としていますが、本事業を進める中でその成果が少しずつ出始めているところです。

教育の分野においては、既にスタートしている全学学士課程横断型教育プログラム「地域創造学環」を始め、地域創造学環の科目を他学部でも受講することができる「地域づくり副専攻」を新規に開設したほか、本学の「地域志向科目」および「キャリア形成科目」の平成30年度全学必修化の準備も整えました。また、就職支援・インターンシップの分野においては、低学年向けの仕事観察型インターンシップの積極的な展開を始め、インターンシップに対する企業側の理解を深めるための企業向け説明会、また就職支援・インターンシップ相談カフェの実施や参加校における出張相談なども実施し、事業協働機関と密な連携を図り、事業の取組みの幅もますます広がりを見せているところです。

本事業はこれまで静岡県ならびに静岡市、浜松市をはじめとする県内35市町すべての自治体及び50余の経済団体・企業等に事業協働機関として参画いただいているほか、浜松医科大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学、沼津工業高等専門学校、県内国公立高等教育機関、電気通信大学、東海大学、愛知学院大学という県外の大学にもご協力をいただいております。このような多様なステークホルダーと協働していくことで、この静岡県の将来を担う若者が県内で活躍できる環境の実現を目指しております。今後とも本事業に対する皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。



静岡COC+連携協議会会長
静岡大学長

石井 潔